

## 親魚用のヤイトハタ・チャイロマルハタの購入

木村基文

### 目的

性の転換をする魚類から安定的に良質の卵を採取するには雌雄の親魚が必要である。雌性先熟のヤイトハタ・チャイロマルハタにおいては雄魚の購入が困難なため雌魚を雄魚に養成する必要がある。そこで、早期に親魚を養成する目的で親魚用のヤイトハタとチャイロマルハタを購入し、併せて親魚の由来を明確にするために漁獲方法、購入方法等を記録した。

### 方法

ヤイトハタ・チャイロマルハタの購入は、名護魚市場でのセンター職員による買い取りと漁業者からの直接買い取りの2通りの方法で行った。

魚市場では午前8～9時に水揚げされたヤイトハタ・チャイロマルハタの中から活きの良い個体を買取り、ポリバケツにエアータンを通気を施し約30分かけて栽培漁業セ

ンターに輸送した。漁業者からの買い取りでは、10尾前後のヤイトハタを漁獲した時点で連絡を受け、魚市場からの購入と同様の方法で輸送した。

また、購入に際しては全長30cm以下の小型魚から50cm以上の大型魚まで網羅するよう心掛けた。

センター到着後、個体毎に全長・体重を測定した後エルバージュで約1時間薬浴し飼育水槽に放流した。

表2 チャイロマルハタ購入時の測定記録

購入年	購入月	購入日	購入尾数	漁場	漁法	全長 (cm)	体重 (kg)	肥満度	飼育状況
92	5	2	1	羽地内海	定置	48	2.0	18	
	5	27	1	運天水路	刺網	49	1.8	15	
	6	30	1	羽地内海	定置	35	0.5	12	
	9	2	1	古宇利沖	定置	39	1.3	22	
	11	19	1	羽地内海	定置	26	0.3	17	斃死
	11	28	1	羽地内海	定置	56	2.5	14	
	11	30	1	羽地内海	定置	46	1.3	13	
93	3	27	2	羽地内海	定置	35	0.5	12	
						35	0.5	12	
	4	2	1	羽地内海	刺網	26	0.3	17	
	5	14	1	羽地内海	定置	53	2.0	13	
	5	19	2	羽地内海	定置	33	0.4	11	
						37	0.6	12	
	6	10	1	羽地内海	定置	60	3.7	17	
	7	2	1	羽地内海	定置	43	1.2	15	斃死
	7	5	1	羽地内海	定置	56	3.5	20	
	7	10	1	羽地内海	定置	53	2.7	18	斃死
	7	14	2	羽地内海	刺網	30	-	-	斃死
						25	-	-	
	7	17	2	羽地内海	定置	28	0.2	7	
						29	0.3	14	斃死
	7	31	2	羽地内海	蓄養	33	0.4	12	
						35	0.4	10	
	9	9	1	羽地内海	定置	33	0.4	11	
	9	14	2	羽地内海	刺網	26	0.3	14	斃死
						26	0.3	14	斃死
	9	22	1	羽地内海	定置	26	0.3	17	斃死
	11	5	1	羽地内海	定置	39	0.7	12	
	11	22	1	羽地内海	定置	25	-	-	
	11	27	1	羽地内海	定置	64	4.0	15	
	12	10	1	羽地内海	定置	57	2.5	13	
	12	18	4	羽地内海	蓄養	56	2.9	16	
						45	1.2	13	
						48	1.7	15	
						48	1.4	13	
	12	29	1	羽地内海	定置	26	-	-	
94	3	10	1	羽地内海	定置	54	3.5	22	
合計			37						8

表1 ヤイトハタ購入時の測定記録

購入年	購入月	購入日	購入尾数	漁場	漁法	全長 (cm)	体重 (kg)	肥満度	飼育状況
92	5	19	10	羽地内海	延縄	27	0.3	16	
						27	0.3	14	
						28	0.3	13	
						29	0.3	14	
						30	0.4	15	
						31	0.5	16	
						36	0.7	15	
						39	0.9	14	
						40	1.1	17	
						32	0.6	17	
	7	23	1	古宇利沖	定置	70	5.5	16	
	10	31	1	羽地内海	定置	57	4.2	23	
	11	19	1	羽地内海	定置	28	0.5	23	
93	6	4	1	羽地内海	延縄	58	2.7	14	
	7	31	7	羽地内海	蓄養	30	0.4	14	
						32	0.5	14	
						32	0.4	12	
						33	0.5	13	
						34	0.5	13	
						34	0.5	13	
						34	0.6	15	
94	3	3	1	羽地内海	不明	48	1.5	14	
合計			22						0

## 結果及び考察

名護魚市場より1992年5月2日～1994年3月10日にかけてヤイトハタを12尾、チャイロマルハタを37尾購入した。また、漁業者から1992年5月19日にヤイトハタを10尾購入した(表1.2)。

ヤイトハタ購入時の全長範囲は27～70cm、体重は0.3～5.5kgで、チャイロマルハタの全長範囲は25～64cm、体重は0.2～4kgであった。肥満度は10～20と大きく異なった。この原因は定置網内で魚を飽食した個体や蓄養により痩せた個体を含んだことによると考えられた(表1.2)。

良好な状態のヤイトハタ・チャイロマルハタは古宇利島周辺、運天水路、羽地内海にかけて定置網、刺網、延縄などで漁獲されたものであった。また、一部のヤイトハタ・チャイロマルハタは羽地内海で漁獲されたのち同海域の生簀において蓄養されたものであった。購入時は、市場水揚げ時に活きの良い個体を選別したため結果的に定置網に入網したものが多く、続いて蓄養、延縄、刺網などで漁獲されたものも含まれた(表3)。

漁業者から購入したヤイトハタ10尾は延縄で漁獲されたものであった。

定置網と刺網で漁獲されたチャイロマルハタ31尾のうちセンター輸送後1日以内に斃死した個体は8尾であった。7,9月に購入した12尾のうち7尾が斃死しており、その斃死魚の漁獲方法は定置網のものが5尾、刺網でのものが2尾であった。斃死魚の中には刺網で漁獲された個体に比べ良好な状態であった定置網入網魚も含まれており、魚市場での親魚購入は夏期の高温期を避けたほうが無難である。漁業者から購入したヤイトハタと蓄養後に水揚げされたヤイトハタ・チャイロマルハタにおいて斃死魚は見られなかった(表4)。

ヤイトハタ・チャイロマルハタは水揚げ後も数時間は生存するため、魚市場で希望サイズを選別して購入することが可能であった。しかしながら、夏期には斃死率が高く親魚購入には適さない。夏期に購入するならば漁業者から直接購入するのが望ましい。

ヤイトハタの購入は、延縄である程度の数を漁獲できるため羽地内海の漁業者に依頼するのが効率的である。チャイロマルハタは、短期間に漁獲することが難しいため魚市場から購入する方が良い。

表3 ヤイトハタ・チャイロマルハタ購入時の全長組成とその漁獲方法

全長(cm)	ヤイトハタ					チャイロマルハタ						
	尾数	定置	刺網	延縄	蓄養	不明	尾数	定置	刺網	延縄	蓄養	不明
0～10	0						0					
10～20	0						0					
20～30	5	1		4			10	6	4			
30～40	12			5	7		11	8	1		2	
40～50	2			1		1	7	3	1		3	
50～60	2	1		1			7	6			1	
60～70	0						2	2				
70～80	1	1					0					
80～90	0						0					
合計	22	3	0	11	7	1	37	25	6	0	6	0

表4 チャイロマルハタの購入時期と斃死尾数

月	購入尾数	斃死尾数	斃死率(%)	平均水温(°C)*
1	0	0	0	21.4
2	1	0	0	20.4
3	3	0	0	20.6
4	1	0	0	21.7
5	5	0	0	24.2
6	1	0	0	26.1
7	7	4	57	28.7
8	0	0	0	28.0
9	5	3	60	26.7
10	0	0	0	25.9
11	6	1	17	24.8
12	2	0	0	22.6
合計	31	8	26	

\*1993年センター地先水温